

JAVA入門

今回の内容

- グラフとオブジェクト指向プログラミング
 - Javaを使う理由
- Javaの基本
 - Javaのライブラリ
 - 開発・実行
- クラスの再利用
 - クラス継承
 - 抽象クラス
- 開発の要点



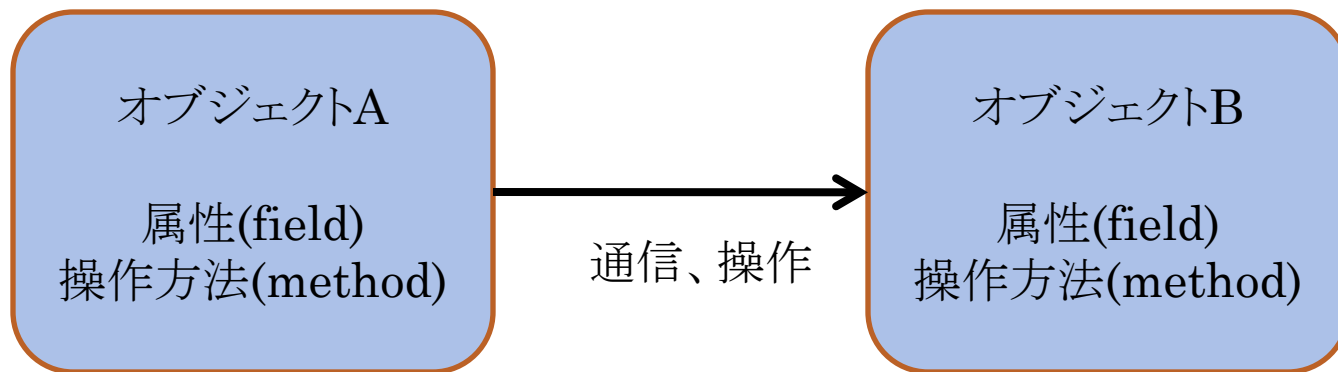
グラフを記述するには

- 頂点(Vertex)と弧(Arc)、その間の関係
- 素直にデータ構造として表現したい
 - グラフは、頂点と弧の集合
 - 弧から始点と終点を得る
 - 頂点から、その頂点を始点とする弧の集合を得る
- 頂点と弧をモノ (object) として捉える
 - モノを中心にプログラムを考える枠組みが欲しい
 - オブジェクト指向プログラミング



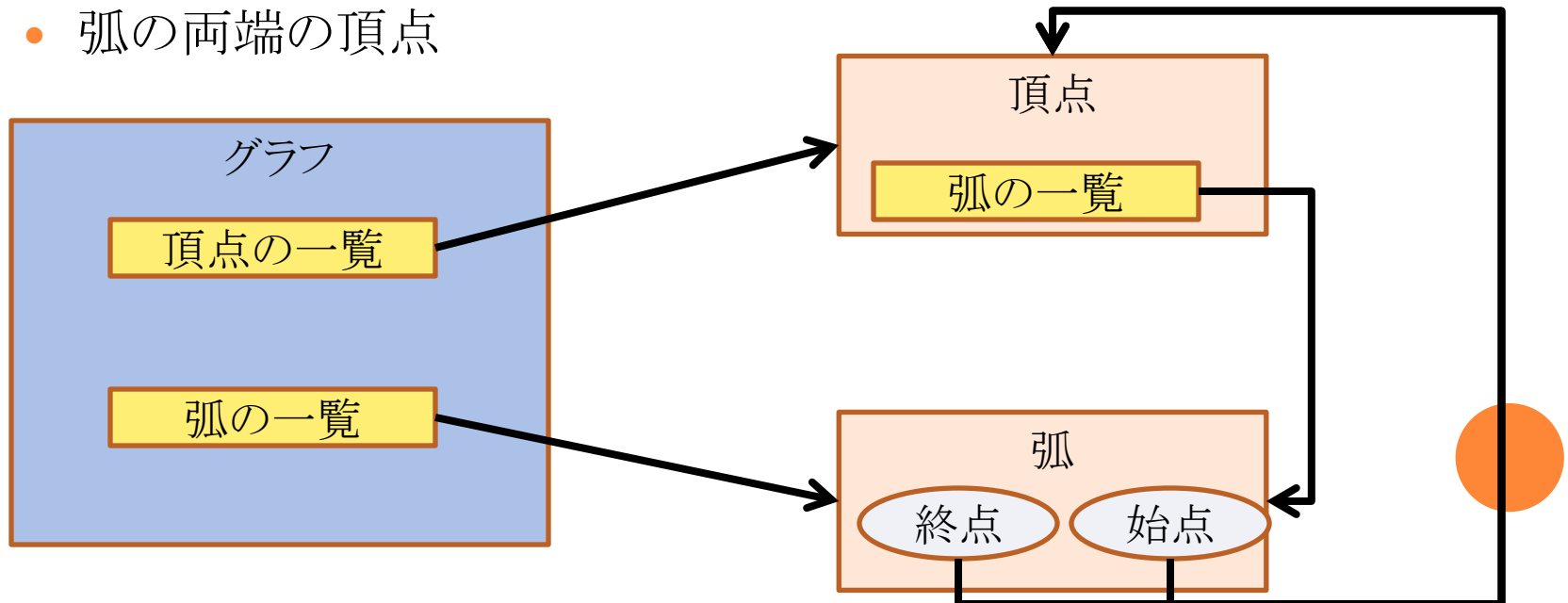
オブジェクト指向(OBJECT ORIENTED)

- もの(object)の操作・動作を中心に考える
- オブジェクトの構成
 - 属性(field):データなど
 - 操作(method)



グラフをオブジェクト指向プログラミングで考える

- グラフの構造を表すデータ構造
 - グラフ、頂点、弧
- 階層的データ
 - グラフの要素としての頂点と弧
 - 頂点に接続している弧のリスト
 - 弧の両端の頂点



- 各データごとの操作
 - 弧に値を設定する
 - 探索問題: 頂点や弧に印を付ける
- データのカプセル化
 - グラフとしての整合性を維持
 - 頂点や弧に属性等を追加
- 型の継承と拡張
 - 弧に「流れ」の属性を付けて拡張
- グラフの可視化



様々なOOP言語

- Smalltalk80
 - Xerox, Palo Alto研究所
- C++
 - B. Stroustrup
 - C にOOPを導入
- Java
 - Sun Microsystems
- Ruby
 - まつもとひろゆき
 - スクリプト言語



C++ではなくJAVAを使う理由

- 豊富なユーティリティー
 - `java.util.Vector`など
- 使い易い開発環境(IDE)
 - NetBeans、Eclipse
- 多数のOSで使える
 - Windows、Linux、Solaris
 - OSに依存しない実行形式
- GUI開発が容易
 - IDEを使うと簡単



JAVAの基本

- 全てがクラス
- 開始点となるクラスが必要
 - `public static void main(String[] args)`メソッドから始まる
 - `main`は主となるクラスを起動するだけ
- コンストラクタメソッド
 - クラスと同じ名前のメソッド
- デストラクタは無い
 - 自動ガベージコレクション



- 一つのクラスで一つのファイルが基本
 - ファイル名はクラス名と同じ
- ヘッダファイルが無い
 - ライブラリはimport文を使う
 - Package名を省略できる
- C/C++のポインタは無い
 - 原始型は値代入
 - クラスオブジェクトは参照



- 文法はだいたいC++と同じ
- 原始型はint、double、char、booleanなど
- 原始型に対応したクラスがある
 - Integer、Double、Character、Booleanなど
- 文字列Stringや原始型の配列はクラス
- ポインタが無い
- デストラクタは書かない
 - 不要なオブジェクトは自動で削除される
- クラスは階層化され、パッケージになっている



```
package StudentSample;
```

```
public class Student {
```

```
//クラス内のフィールド
```

```
private String name=null;//名前
```

```
private int studentID=0; //学生番号
```

```
private int record=0; //点数
```

```
/**
```

```
* コンストラクタ : インスタンスを生成する
```

```
*/
```

```
public Student(String name, int studentID) {  
    this.name=new String(name);  
    this.studentID=studentID;  
}
```

```
public boolean find(int s){  
    if(s==getStudentID())return true;  
    return false;  
}
```

```
public int getStudentID() {return studentID;}
```

```
public String getName() {return name;}
```

```
public int getRecord() {return record;}
```

```
public void setRecord(int record) {  
    this.record = record;  
}
```

```
}
```

クラス宣言

クラス内フィールド
クラス内のデータ

コンストラクタ
クラスインスタンス生成

メソッド
クラスインスタンス操作



便利なライブラリ

- オンラインマニュアル
 - <http://java.sun.com/javase/ja/6/docs/ja/api/>
- 基本的なクラス:java.lang
- 入出力:java.io
- コレクション(リストなど):java.util
- 基本GUI:java.awt
- 拡張GUIセットSwing:javafx.swing



開発環境

- <http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>
- NetBeans
 - http://www.netbeans.org/index_ja.html
- プロジェクト管理
- UMLとの連携
- メソッド名の補完
- パーツを使ったGUI構築
- CVS等を使ったバージョン管理



プログラム開発の手順

- 作業ディレクトリを決める
 - デフォルトでは~/Documents/NetBeansProjects
- NetBeansを起動
- 「ファイル」→「新規プロジェクト」
- プロジェクトウィンドウ内で
- プロジェクト名→「ソースパッケージ」→「デフォルトパッケージ」で右ボタン「新規」



新しいクラスを作る

- GUIの無い主クラス
 - 「Java 主クラス」
- GUIのある主クラス
 - 「JFrameフォーム」
- テンプレートを上手に使う



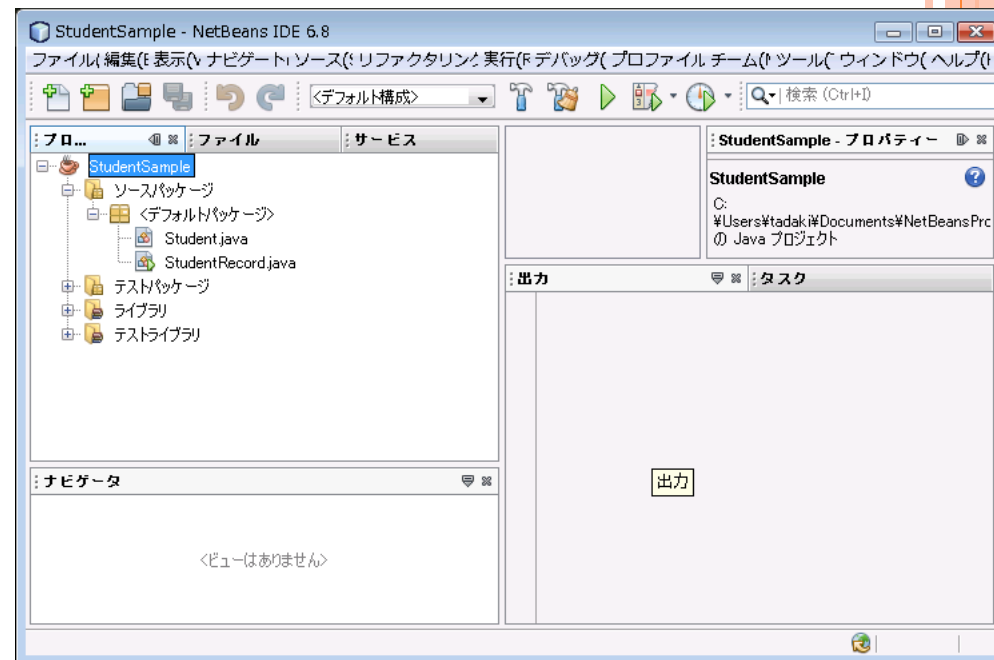
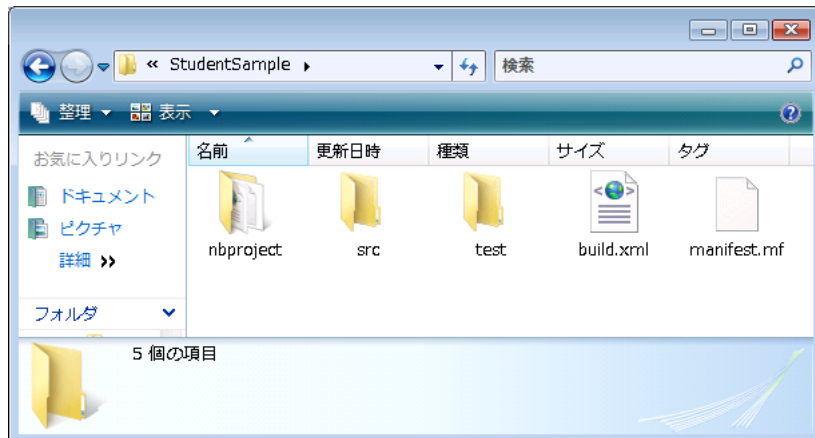
構築と実行

- プロジェクトウィンドウ内で
 - プロジェクト名→「プロジェクトを構築」
- プロジェクトウィンドウ内で
 - プロジェクト名→「プロジェクトを実行」
 - 主クラス名→「ファイルを実行」
- デフォルトでは、ファイルを保存すると、コンパイルする



サンプルプログラムを作成する場合 例: STUDENTSAMPLE

- プロジェクト「StudentSample」を作成する
- プロジェクトディレクトリの構造
 - 「src」の下に*.javaファイルをダウンロード
- プロジェクト内にクラスが表示される



OOPと開発効率

- OOPはプログラム開発効率を改善する
- カプセル化
 - クラス内部の構造を隠す
 - 変更をクラス内に止め、他に影響を与えない
- クラスの継承・再利用
 - 機能や属性を既存のクラスに追加する
- 抽象クラス
 - 機能や属性の似たクラスをグループ化する



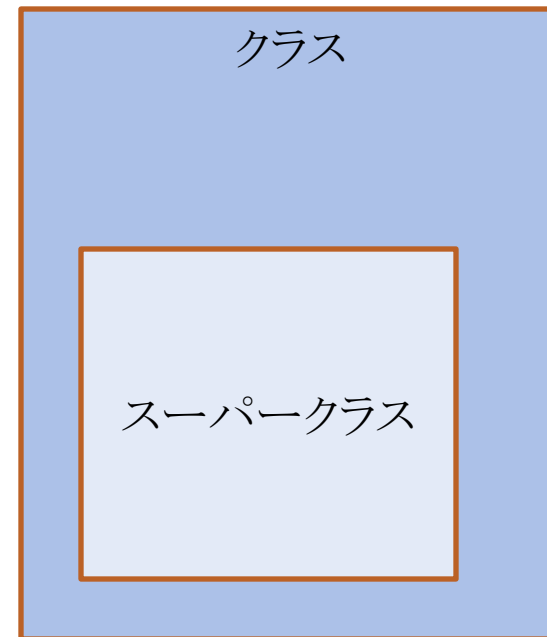
クラスの継承・再利用

- 既存のクラスを継承して拡張
 - クラスの継承とインターフェイスの利用
- 既存のクラスとの調整をするクラスを作る
 - インターフェイス的な調整
- 既存のクラスを要素として持つクラスを作る

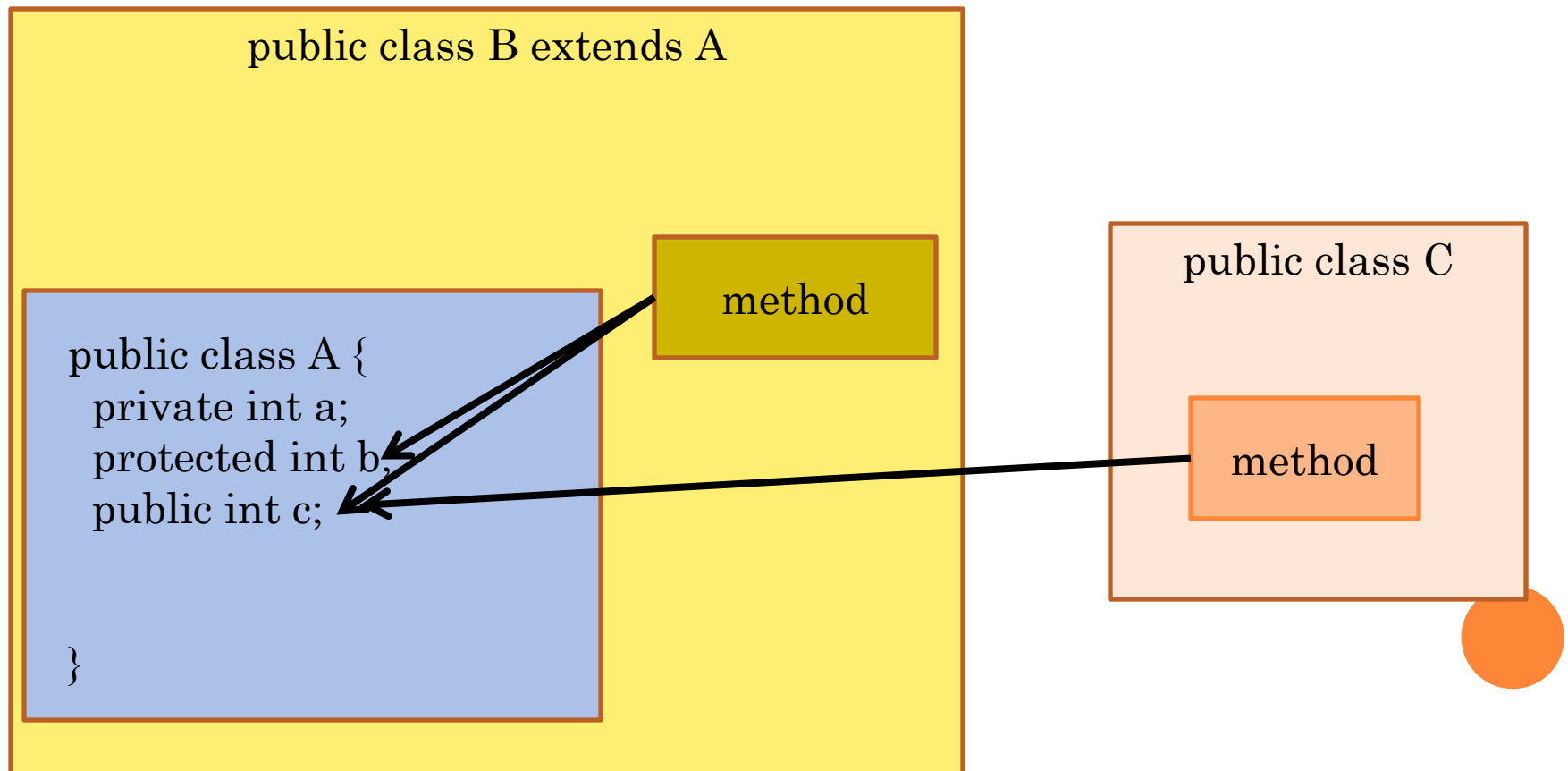


クラスの継承

- 出来上がったクラスの資産を生かす
- 標準的クラスの資産を生かす
- クラスの組に共通なデータや動作を定義する
- 一つのクラスしか継承できないことに注意



アクセス制限



ABSTRACT CLASSES

- 基本となるデータ構造とメソッドを定義
- メソッドの一部は実装が定義されていない
 - `abstract method`
- 継承クラスを定義して使う
- 例
 - `java.util.AbstractList`
 - 上記の実装の一つが`java.util.Vector`



INTERFACES

- abstract methodのみで構成されている
- アクセス方法だけが指定されている
 - 他のプログラムからの見え方を規定

class A implements インターフェイス{
}

- 例
 - java.lang.Runnable
 - メソッドrun()が定義されている
 - スレッドからの呼び出しに使う



例：COMPARABLEインターフェイス

- 大小関係があるインスタンスを表す
 - 順序付けることができる
- 必ずメソッド `int compareTo()`を実装しなければならない。
 - 引数と比較して、0または±1を返す
- ソートプログラムは、Comparable インターフェイスを持ったクラスを`compareTo()`を使って並べ替える。
 - クラスの中の構造は知らなくて良い



プログラム開発の要点

- 開発・保守コストを下げる
- クラスの再利用
 - ルーチン化したコードを再利用
 - 他の人のノウハウを借用
- 分かりやすい構成
 - 自分にも他人にもわかるように
 - 修正箇所の限定
 - 修正の影響範囲を明確化



プログラム開発の要点2

- アルゴリズムをデータの詳細と切り離す
 - ソートのアルゴリズムは、ソートされるデータの詳細とは関係ない
 - スレッドプログラムは、各スレッド内で何をしているかと関係ない
- 問題をオブジェクトの運動として捉える
 - 小さなオブジェクトへ分割
 - 小さなオブジェクトならば、その役割が明確になる



Student. java

```
package StudentSample;
/**
 * Student. java
 * Created on 2007/04/15, 11:34
 * 生徒のクラス
 * @author tadaki
 */
public class Student {
    //クラス内のフィールド
    private String name=null; //名前
    private int studentID=0; //学生番号
    private int record=0; //点数
    /**
     * コンストラクタ : インスタンスを生成する
     */
    public Student(String name, int studentID) {
        this.name=new String(name);
        this.studentID=studentID;
    }

    public boolean find(int s){
        if(s==getStudentID())return true;
        return false;
    }

    public int getStudentID() {return studentID;}

    public String getName() {return name;}

    public int getRecord() {return record;}

    public void setRecord(int record) {
        this.record = record;
    }
}
```

StudentRecord.java

```
/*
 * StudentRecord.java
 *
 * Created on 2007/04/15, 11:34
 * パッケージを作って、関連するプログラムを一つにまとめる
 */
package StudentSample;

/**
 *
 * @author tadaki
 */
public class StudentRecord {
    private java.util.Vector<Student> students=null;//生徒一覧
    private String names[]={
        "Aoyama", "Asou", "Baba", "Chou", "Egashira",
        "Eto", "Funaki", "Goto", "Gunji", "Hara", "Hashimoto",
        "Ikeuchi", "Ito", "Jo", "Kayama", "Mori", "Naito", "Tada",
        "Yamada", "Yoshida"
    };

    /** コンストラクタ */
    public StudentRecord() {
        //生徒一覧を初期化
        students = new java.util.Vector<Student>();
        //登録
        for(int i=0;i<names.length;i++){
            Student s = new Student(names[i], 1000+i);
            s.setRecord((int) (100*Math.random()));
            students.add(s);
        }
    }

    public void listStudents() {
        int max=0;
        Student best=students.firstElement();
        //拡張されたforループ
        for(Student s : students){
            int r=s.getRecord();
            System.out.print(String.valueOf(s.getStudentID())
                +":"+s.getName()+":");
            System.out.println(String.valueOf(r));
            if(r>max){
                max=r; best=s;
            }
        }
    }
}
```

StudentRecord.java

```
        System.out.println();
        System.out.print("Best is ");
        System.out.print(String.valueOf(best.getStudentID())
            + ":" + best.getName() + ":");
        System.out.println(String.valueOf(best.getRecord()));
    }
    /**
     * @param args the command line arguments
     */
    public static void main(String[] args) {
        StudentRecord studentRecord= new StudentRecord();
        studentRecord.listStudents();
    }
}
```